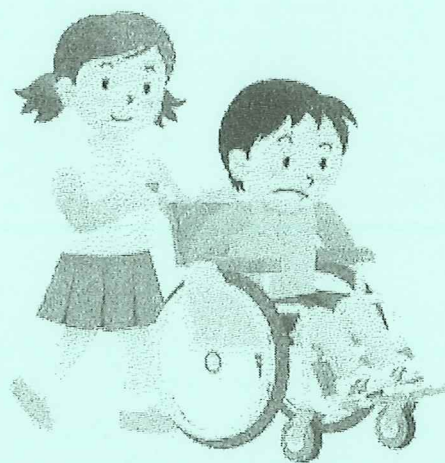


常盤 盤 小 学 校



支え合っ	て生きたい	常盤小学校	六年	石動	悠那	私のおいちゃん	は、弘前消防署で消防士をしていました。火事になつた時に、実際に現場に行つて、火を消すという仕事です。火事の現場に行つて助ける人たちを見てもかっこいいと思つたし、人を助ける仕事をしていてすごいといふ理由から、私は、将来、おいちやんと同じ人を助ける仕事である、救急救命士になりたいと思ひます。	私のおいちゃん	は、とても優
------	-------	-------	----	----	----	---------	--	---------	--------

ぶくろをはめて、首から下げたサ
 ポーターとつなげて、腰が曲がる
 ようにしました。最後に、視界が
 せまく、見えにくくなるメガネを
 かけました。その状態で、階段を
 上り下りしてみると、とても動き
 づらく、ゆっくりでしか、行動で
 きないと感じました。たしかおい
 いちゃんも、手術が終わって退院
 してきた時に、階段で転んだこと
 がありました。どうして、あんな
 になにしかりしていたおじいちゃん
 さんが階段で転ぶんだらうと不思議
 議に思いました。でも、この高齢
 者疑似体験をして、腰が曲がり、

周りが見えにくくなって、足や手
 が重くなってしまうからだという
 ことがわかりました。
 もっと早くこの体験をしていた
 り、あの時、おじいちゃんに、も
 う少し、手助けでよかったのにと残念
 に思います。
 高齢者疑似体験のとき、社会福
 祉協議会の方が、年をとると、か
 んこになったり、かまんだりす
 るという話を話していただきました。
 私のおじいちゃんも、熱が出た
 り、具合が悪くなっても、病院
 に行かなかったり、具合が悪
 いのを、かまんだりしていました。

か	と	家	思	と	た	と	も	ら	や	思	く	い	の	「
ら	を	族	い	を	か	は	お	た	ん	い	な	う	に	な
私	い	は	ま	が	ら	「	い	し	に	ま	か	ん	」	で
を	た	痛	う	ま	、	た	ち	、	と	で	た	は	思	行
か	わ	い		ん	痛	く	う	父	て	も	ん	族	て	か
ま	り	こ		し	い	さ	ん	や	も	か	に	に	い	の
ん	合	と		な	こ	ん	あ	母	わ	わ	し	述	ま	？
し	え	や		い	こ	る	る	、	い	い	し	を	し	行
な	る	、		で	こ	は	は	お	が	私	た	か	か	け
い	こ	つ		ほ	や	ず	ず	ば	、	は	か	、	い	ば
で	の	う		し	、	で	す	あ	お	い	け	お	い	い
言	思	い		か	つ			ち	い	ち	な	い		
う	う	こ		た	う	こ	こ	ん	ち	ち	は	い		



し、	「
家	支
族	え
み	合
ん	っ
な	て
に	生
も、	ま
言	た
っ	い
て	と
も	思
さ	い

[illegible]

先	で	す。	紙	を	折	る	と	き	手	が	す	べ	っ
て	、	動	か	ず	、	あ	ま	り	目	が	見	え	な
い	の	で	ほ	ん	と	う	大	変	で	し	た。		
			ぼ	く	は	、	こ	の	体	験	で	高	齢
			れ	だ	け	大	変	か	が	わ	か	り	ま
			し	た。									
			こ	の	よ	う	な	体	で	毎	日	を	過
			ご	し	て	い	る	の	か	と	考	え	る
			と、	年	を	と	る	の	が	い	や	だ	な
			あ	と	思	い	ま	し	た。				
			歩	く	時	な	ど	関	節	が	曲	が	ら
			ず、	目	か	ぼ	や	け	て	周	り	が	見
			え	ず、	指	先	も	思	う	よ	う	に	動
			か	な	く、	ず	っ	と	こ	し	が	曲	が
			っ	て	い	る	な	ど	が	あ	る	か	ら
			高	齢	者	ド	ラ	イ	バ	ー	の	事	故
			な	ど	が	多	く	な	る	の	か	な、	と
			思	い	ま	し	た。	体	も	思	う	よ	う
			に	動	か	な	く	な	る	だ	け	で	

なく、脳もだんだん年をこつていくのだと思います。高齢者ドライバーの事故を見るたび、ぼくが高齢者になったら、早目に免許を返して、事故を起こさないようにしようと思います。事故を起こした人も事故にあつた人も周りの家族も、みんなが悲しむからです。高齢者が大変だということかわかつたので、これから、ぼくにできることとは、家にいる時には、おじいちゃんやおばあちゃんに無理をさせないように、自分ができることを積極的に手伝いたいと思います。ました。それから、家のおじい

ちゃんおばあちゃんだけでなく、遊んでいる時など、町中でこまっっている高齢の人や電車に乗っている高齢の人などに、手伝ったり、席をゆずったりして、自分でできることを手伝いたいと思いました。それから、高齢者疑似体験といつしよに車いす体験もしました。まずぼくは押す人をやりました。押す人は乗っている人がびっくりにないように、動くように動かさないように、とか、段差があるとか、声をかけながら、ゆくり安全に運転することが大切だとわかりました。

それは、車いすに乗る人になっ
て気づきました。車いすに乗っ
ている人は、周りが見えにくいので
ちよっところわくて不安な気持ちに
なります。声をかけられず、急に
動きだすと、とてもびっくりしま
した。この体験でコミュニケーシ
ョンの大切さを実感しました。
この二つの体験から、相手がど
のように不自由しているのか、ど
のような不安な気持ちをもっ
ているのかをわかってあげること
が大切だと思いました。相手のこ
とがわかると、自分がどのよう
に手伝えればいいのかが見えて
きます。そ

うやって、人と人が助け合っ
ていたらいいと思うし、ぼくも人
の手助けすることを特別のことと考
えず、自然にできる人間になりた
いと思います。



いちちゃんも疑似体験で感じたよう
 な体のつらさや気持ちをもつて、
 苦しかったこともあったんだろう
 なと思いました。
 この体験を通して、亡くなった
 私のおじいちゃんへの気持ちを少し
 知ることができたのではないかと
 思います。おじいちゃんは今もうい
 ません。これから身近にいます。
 おじいちゃんやおばあちゃんの気
 持ちを考えて行動していきたいと
 思いました。
 また、これからお年寄りに対し
 て自分にできるようなことを考えま
 した。苦しいことやつらいことを

理解し、おじいちゃんやおばあち
 さんの病気への不安やなやみを聞
 いて、少しでも無理をさせないよ
 うにしたいと思いました。また、
 知らない人でも、もし困っていた
 ら助けていきたいと思いました。
 この体験でお年寄りの気持ちを
 学ぶことができたので、これから
 の生活でもいかしていきたいです。
 しかし、今回体験したお年寄り
 の体のつらさは、実際にお年寄り
 の方が感じているつらさとは限り
 ません。もつとつらく感じている
 こともあると思います。そのため
 ただ助けるだけではなく、ユニエ

ニケイニヨニを取って、どんな支援が必要なのかを知ることが大事だと思いました。そして、私がおばあちゃんになったとき、この体験の何倍も痛いことや辛いことがあると思うので、しつかりと準備しておきたいと思いました。

これから、私の住んでいる藤崎町の地域で、周りで困っている人には優しく接して、何か自分にできることははないか考えて、行動していきたいです。また、コニエニケイニヨニをよくとって、相手がどんな気持ちなのか、どんなことを考えているのかを知らないから、

人間関係を深め、自分にできることを行いたいと思います。



思いやりの気持ちをもって

常盤小学校六年

成田 篤樹

みなさんはお年寄りや体の不自由な人のために、何か考えたり助けたりしたことがありますか。ぼくは福祉体験を通して考えたことが三つあります。

一つ目は、お年寄りの視点に立つことの大切さです。高齢者疑似体験をして、お年寄りの大変さが分かりました。たくさんのおもりやサポーターをつけて、お年寄りの体に近づくようにして、様々な日常の動きを体験してみました。

思うように体が動かすことができず、大変でした。特に階段の上り下りがつらかったです。その他にも、折り紙を折りました。手袋をしていてるので、細かい作業が難しかったです。思うように体が動かないことがわかりました。

お年寄りの視点に立つことで、体の動かしにくさや自分が思っている以上に、うまく体を動かすことができないことを知りました。そのため、そのようなお年寄りの視点に立って、困っているときに手助けしたり、気持ちを考えたりしていききたいと思いました。

二つ目は、車いすの難しさです。実際に車いすに乗って体験をしてみると、急に動いたり、ちょっとした段差でも、思った以上にゆれがくることが分かりました。このようなゆれがいつも続くと、大変だということを実感しました。そのため、もし自分が車いすを動かすときには、気を配って押すことが大事だと分かりました。三つ目は、お年寄りの心の特徴です。お年寄りの気持ちについて書かれています。資料を読んでみました。するとお年寄りは、子供の独立や配偶者との死別により、気持ち

ちが内向的になったり、家族に迷惑をかけたくないという思いから、体の痛みや心の苦しみをがまんすることがあると書かれています。ぼくはこのことを通して、コミュニケーションが大事だということがわかりました。お年寄りの人と話すことで、お互いに気持ちが悪くなると思います。また、なやんでいることを話すことで、気持ち悪くなくなります。そのために、これからは積極的に話をしていきたいと思います。この福祉体験学習を通して、高齢者の視点や気持ちを知り、考え

ることができました。自分もこれ
からコミュニケーションをとって
いれあう機会を増やして過ごした
いです。

